

理科の目標

自然現象に対する興味・関心を高め、目的意識を持って観察・実験を行うことにより、問題解決の能力や科学的な見方、考え方を身に付けることです。

評価の観点

- 1 自然の事象に関心を持ち、授業に積極的に参加している。
- 2 課題にしっかり取り組み、科学的に考察を進めることができる。
- 3 観察や実験に意欲的に取り組み、方法を身に付け、結果を表現できる。
- 4 授業の内容を理解し、知識を身に付けている。
- 5 宿題やレポート等にしっかり取り組んでいる。

評価の方法

授業中の態度や参加のようす、発言・発表の様子や内容、観察・実験の技能、ノートやレポート・ワークなどの提出物、中間、期末テストや小テスト、授業道具の準備状況など総合的に評価します。

特色ある学習方法

- 実験・観察の重視
- 映像、視聴覚教材の利用
- 実験プリントの活用
- 調べ学習を入れる（まとめや発表）
- ティームティーチング

時間 1学期 週4時間
 2学期 週4時間
 3学期 週4時間

	学習内容	学習のねらい
1 学 期	物質のなりたち 物質どうしの化学変化 酸素がかかわる化学変化 化学変化と物質の質量 化学変化とその利用 生物と細胞	物質の変化やその量的な関係について理解すると共に原子、分子モデルと関連付ける見方を養う。 物質の成り立ちや化学変化の仕組みに対する興味関心を高める。 細胞の基本的なつくりやはたらきについて理解する。
2 学 期	植物のからだのつくりとはたらき 動物のからだのつくりとはたらき 刺激と反応 気象の観測 雲のでき方と前線 大気の動きと日本の天気	植物、動物の体のつくりと働きを実験・観察を通して理解する。 動物が外界からの刺激に反応して行動するしくみを理解する。 身近な場所での気象観測をし、その結果をもとに気象要素と天気の変化の関係を見出す 地球の水の循環が太陽のエネルギーにより起こる事を理解する。また、前線の構造や種類、天気の特徴について理解する。 日本付近の大気の動きや気団の性質、水蒸気の凝結現象について理解する。
3 学 期	静電気と電流 電流の性質 電流と磁界	静電気の基本的な性質を理解する。 電流の特徴から、電流と電圧の関係を見つけ説明する事ができる。 磁石や電流による磁界の実験を行いその特徴や規則性を理解する。